

2022年10月20日 全8頁

## Indicators Update

# 2022年9月貿易統計

輸入金額に頭打ちの兆しが表れ貿易赤字が縮小

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

### [要約]

- 2022年9月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+28.9%と19カ月連続で増加したが、輸出の実勢を示す輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月から小幅な増加にとどまった。他方、輸入金額については同+45.9%と前月から伸びが鈍化したことで、貿易収支は▲2兆940億円、季節調整値では▲2兆98億円と、赤字幅が縮小した。これを受け、7-9月期の実質GDP成長率における外需寄与度は僅かなプラスを予想する。
- 9月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+0.2%と2カ月ぶりに増加した。供給制約の緩和を背景に自動車輸出が大幅に増加したが、一部の品目における前月の増加の反動などの短期的な要因が全体を押し下げ、輸出数量は小幅なプラスにとどまった。地域別に見ると、EU向け（同+7.5%）やアジア向け（同+1.3%）が増加した一方、米国向け（同▲7.1%）は前月の大幅増の反動で減少に転じた。
- 先行きの輸出数量は非常に緩やかな増加基調を辿るとみている。供給制約の緩和や中国経済の正常化の進展が好材料となろう。車載向け半導体不足の緩和が進む中で、積み上がった仕掛品在庫を原動力に自動車生産が復調するとみている。他方、米欧で景気後退が現実味を帯びてきている点には注意が必要だ。

## 【貿易金額】輸出の回復が鈍い一方で輸入金額は頭打ちの兆し

2022年9月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+28.9%と19カ月連続で増加した（**図表1**）。季節調整値で見ても前月比+3.2%と2カ月ぶりに増加した。主因は輸出価格の上昇であったが、輸出の実勢を示す輸出数量（大和総研による季節調整値）は小幅な増加にとどまった（**図表2左**）。

輸入金額は前年比+45.9%と大幅な増加が続いているが、前月（同+49.9%）からは鈍化した。品目別では、原油及び粗油や液化天然ガス、石炭などが増加した。ただし、円安や資源高による輸入インフレを背景に液化天然ガスや石炭の輸入数量は減少したとみられる。輸入金額を季節調整値で見ると、前月比▲0.6%と9カ月ぶりに減少した。輸入金額の変動を数量・価格に要因分解すると、輸入数量（大和総研による季節調整値）が同▲3.0%となり輸入金額を大きく押し下げた（**図表2右**）。

貿易収支は▲2兆940億円と14カ月連続の赤字となった。季節調整値で見ても▲2兆98億円と大幅な赤字であったが、7月や8月に比べれば赤字幅は縮小した（**図表3**）。円安や資源高によるコスト増が輸出財価格へ転嫁されて輸出金額が押し上げられる一方、輸入金額は頭打ちの兆しがみられる。

これを受け、7-9月期の実質GDP成長率における外需寄与度は僅かなプラスを予想する。7-9月期の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前期比▲0.3%と、中国向け（同▲1.4%）の低調さを背景に小幅に減少した。他方で輸入数量は同▲1.7%と、輸入インフレによる買い控えを背景により大きく減少している。また、7月と8月のサービス収支（月平均）では赤字幅が4-6月期（同）から拡大した。未公表の7-9月期の国際収支の結果にもよるが、財貿易と併せて考えると財輸入の減少の影響がやや強く表れ、外需寄与度が押し上げられるとみている。

図表1：貿易統計の概況

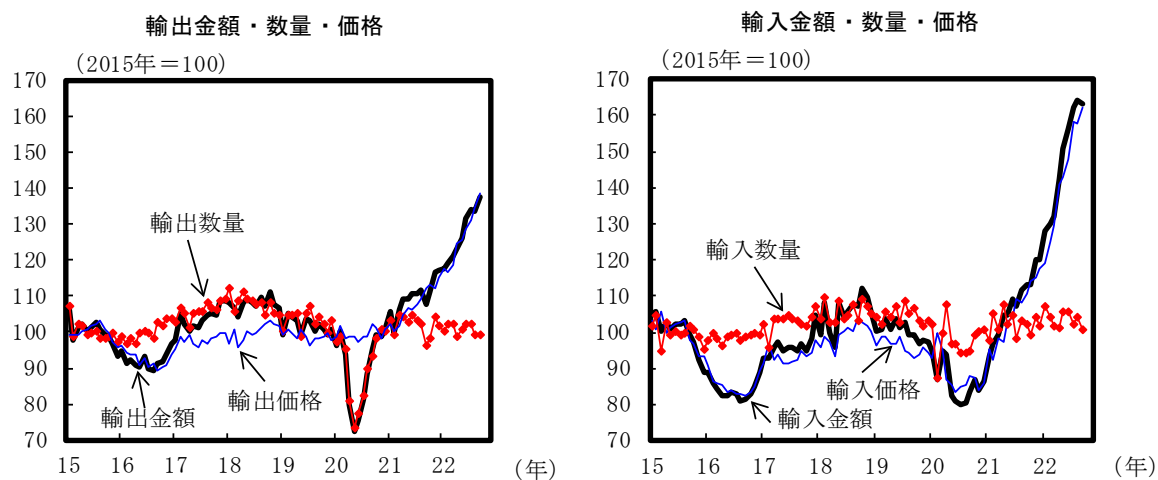
		2022年								
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
原系列 前年比 %	輸出金額	9.6	19.1	14.7	12.5	15.8	19.3	19.0	22.0	28.9
	コンセンサス									26.6
	DIRエコノミスト予想									24.5
	輸入金額	38.8	34.2	31.4	28.4	49.0	46.2	47.4	49.9	45.9
	輸出数量	▲4.0	2.7	▲1.4	▲4.4	▲3.5	▲1.5	▲1.9	▲1.1	3.7
	価格	14.1	15.9	16.3	17.7	20.0	21.1	21.3	23.4	24.3
	輸入数量	4.8	▲0.9	0.0	▲9.0	4.7	1.3	2.2	2.8	▲1.8
価格	32.4	35.3	31.4	41.1	42.3	44.3	44.2	45.9	48.6	
	貿易収支(億円)	▲21,994	▲6,772	▲4,240	▲8,538	▲23,906	▲14,042	▲14,449	▲28,200	▲20,940
季節 調整値 前月比 %	輸出金額	0.5	0.9	1.8	1.6	2.6	4.1	2.1	▲0.7	3.2
	数量	▲1.3	1.6	0.0	▲3.0	1.7	1.5	0.3	▲3.2	0.2
	価格	1.8	▲0.7	1.8	4.8	0.9	2.6	1.8	2.6	2.9
	輸入金額	6.6	1.9	1.2	8.1	5.8	3.8	3.6	1.4	▲0.6
	数量	5.4	▲3.0	▲2.4	▲0.5	4.4	0.3	▲3.3	1.8	▲3.5
	価格	1.1	5.0	3.7	8.7	1.3	3.5	7.2	▲0.4	3.0
		貿易収支(億円)	▲9,243	▲10,136	▲9,808	▲15,560	▲18,974	▲19,410	▲21,307	▲23,378
	税関長公示レート	114.82	114.84	115.86	122.84	129.17	130.35	136.05	135.08	139.81

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

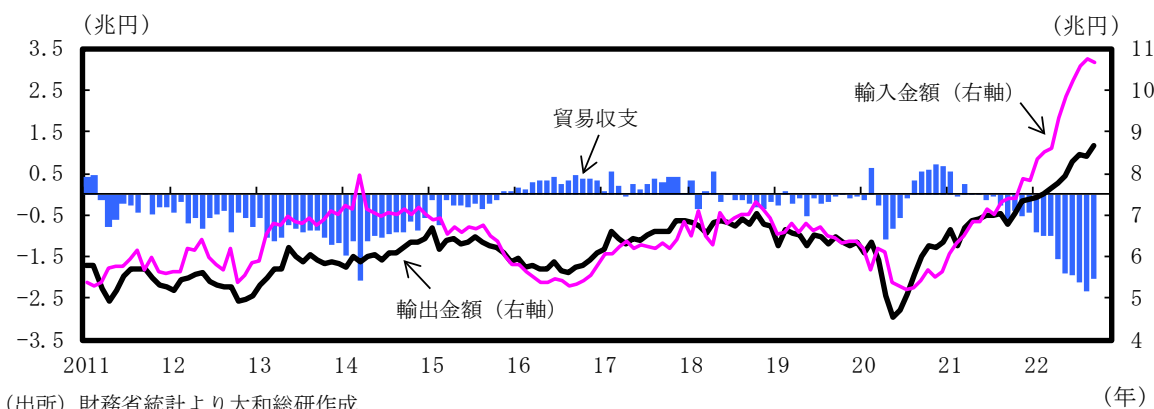
図表 2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

図表 3：輸出、輸入、貿易収支（季節調整値）



(出所) 財務省統計より大和総研作成

## 【輸出数量】自動車輸出の復調と短期的な下押し要因が拮抗し全体は小幅増

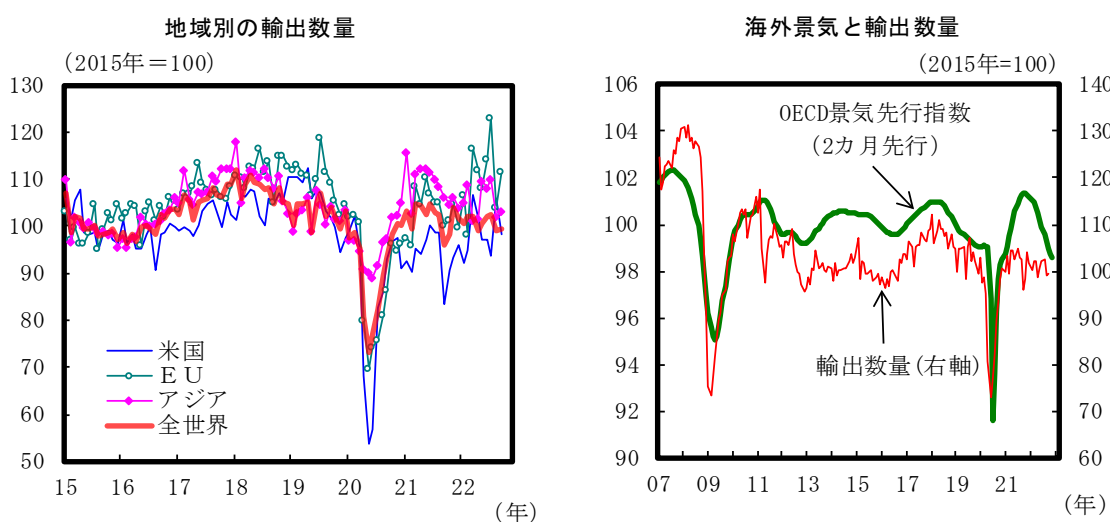
9月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+0.2%と2カ月ぶりに増加した。供給制約の緩和を背景に自動車輸出が大幅に増加したが、一部の品目における前月の増加の反動などの短期的な要因が全体を押し下げ、輸出数量は小幅なプラスにとどまった。地域別に見ると、EU向け（同+7.5%）やアジア向け（同+1.3%）が増加した一方、米国向け（同▲7.1%）は前月の大幅増（同+13.1%）の反動で減少に転じた。

米国向けは2カ月ぶりに減少した。前月の反動もあって幅広い品目の輸出が減少した。とりわけ自動車の部分品や原動機といった自動車部品、半導体等製造装置、鉄鋼など、中間財・資本財が低調であった。他方、半導体不足の緩和が進む中で自動車輸出は大幅に回復しており、水準で見ればコロナショック前（2019年平均）の8~9割程度まで持ち直した。

EU向けは2カ月ぶりに増加した。米国と同様に自動車が全体をけん引したほか、このところ輸出数量が大きく変動している鉄鋼が押し上げ要因となった。その他の品目では電算機類（含周辺機器）や同部分品、半導体等製造装置が小幅に増加した。欧州向けの半導体等製造装置は2022年前半にかけて急増していたが、足元では半導体不足に対する急ピッチの対応が一段落したことで落ち着いた動きとなっている。他方、自動車の部分品が全体を押し下げた。

アジア向けは2カ月ぶりに増加したが、中国向け（前月比+1.1%）の回復が非常に鈍く小幅な持ち直しにとどまった。内訳を見ると、自動車や、電算機類の部分品が全体を押し上げた。自動車はASEAN向けを中心に増加が続いている。電算機類の部分品は中国向けが増加した。中国国内では電力不足などを背景にPC等の生産が停滞していたため、電算機類の部分品の輸出も低調であったが、9月は短期的な在庫復元の影響が表れた可能性がある。他方、半導体等製造装置や鉄鋼は前月に続いて減少した。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はOECD加盟国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

## 【見通し】海外経済が減速する中で供給制約の緩和などが輸出数量を下支え

先行きの輸出数量は非常に緩やかな増加基調を辿るとみている。供給制約の緩和に加え、中国経済の正常化の進展が押し上げ要因となろう。とりわけ車載向け半導体不足は今後も緩和が進むとみられ、積み上がった仕掛品在庫を原動力に自動車生産が復調するとみている<sup>1</sup>。他方、米欧では景気後退が現実味を帯びてきている。とりわけ欧州経済については物価高、金融引締め、エネルギー不足と懸念材料が多く、対欧輸出は伸び悩むとみている。

輸出の先行きを地域別に見ると、米国向けは増加ペースが鈍化するとみている。米国向け輸出数量は、足元では振れを伴いながらも増加傾向にある。個人消費が底堅いことから、先行きでは復調が進む自動車輸出の受け皿となるだろう。他方、FRBによる大幅利上げの継続が景気をいっそう冷やすことで、日本からの輸出全体にかかる下押し圧力が強まるとみている。

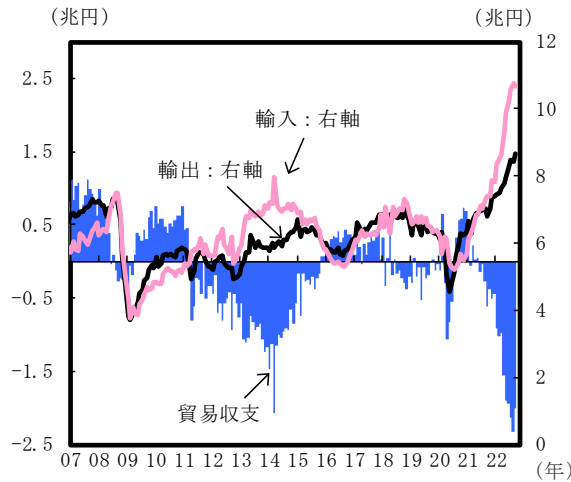
欧州向けは横ばい圏での推移を見込む。欧州向け輸出数量も均せば増加傾向を辿ってきたが、主因は半導体等製造装置の短期的な急増であり、堅調な内需に支えられていた米国向けとは背景が異なる。また、同品目の輸出は足元で落ち着きつつあり、当面は欧州向け輸出を押し上げる要因が自動車輸出の復調のみとなることが予想される。その自動車輸出についても、2019年後半以降はEV（電気自動車）へのシフトを背景として趨勢的に減少している。エネルギー不足もあって景気後退が現実味を帯びる中、日本の主要な輸出先の中では最も下振れリスクが高い。

中国向けは緩やかな回復が継続するとみている。経済対策もあって中国経済の正常化が進むことで、日本からの輸出を下支えすることが期待される。ただし、10月16日に開幕した5年に1度の共産党大会において「ゼロコロナ」政策を緩和する考えは示されていない。景気を犠牲にした感染対策が継続する下では対中輸出の急回復は見込みにくく、輸出が緩やかに持ち直す姿が想定される。また、不動産不況を背景に鉄鋼などの主力の中間財や建設機械の輸出が低迷しており、今後も輸出の持ち直しを鈍らせる可能性がある。

<sup>1</sup> 詳細は拙稿「[本格化する半導体不足の緩和](#)」（大和総研レポート、2022年10月17日）

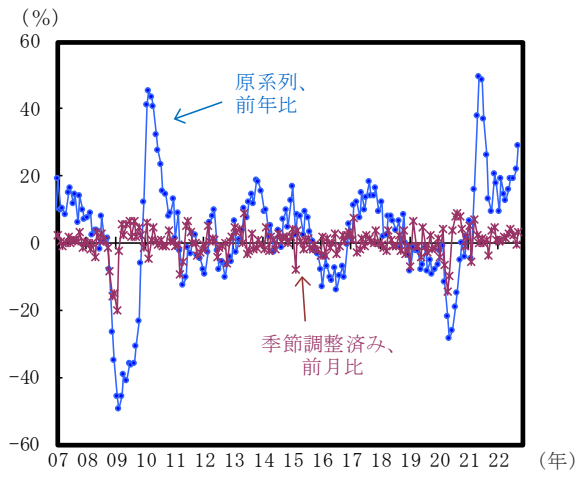
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

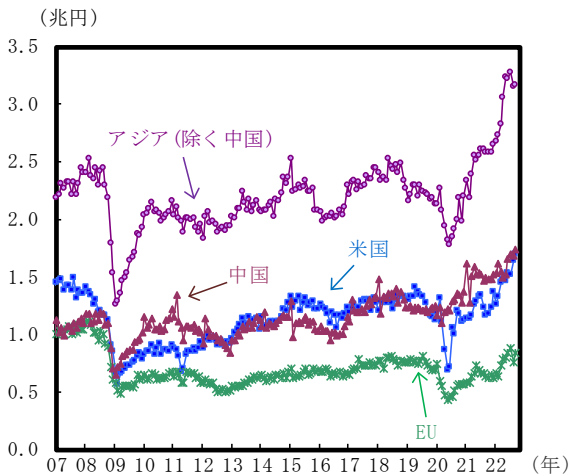


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

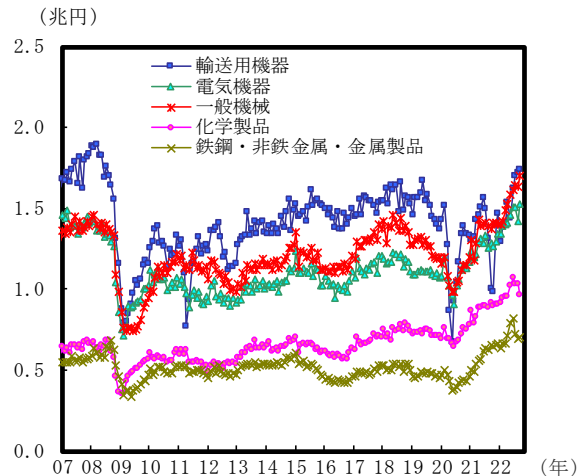


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

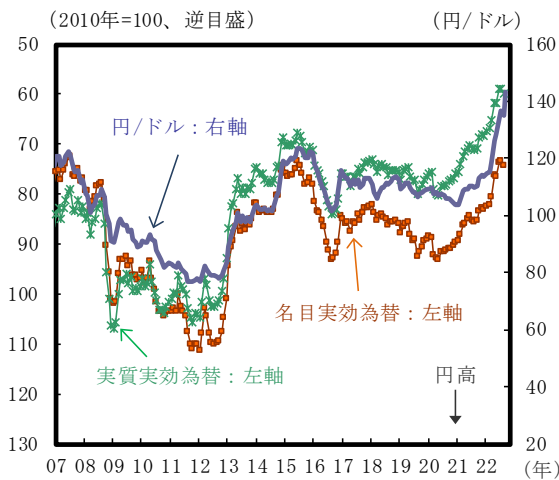


(注) 季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

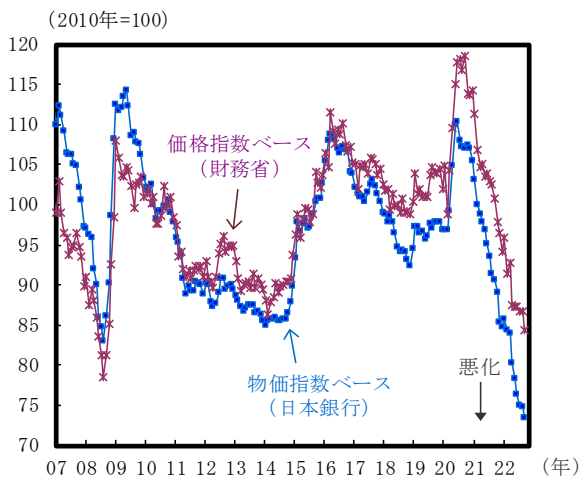


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。  
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件





輸出金額 内訳								
	2022/04	2022/05	2022/06	2022/07	2022/08	2022/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	12.5	15.8	19.3	19.0	22.0	28.9	100.0	28.9
食料品	14.0	18.2	25.8	21.6	15.2	14.9	1.1	0.2
原料品	4.0	20.9	9.0	17.8	7.7	14.4	1.5	0.2
鉱物性燃料	132.0	404.8	341.5	142.3	171.0	86.7	2.6	1.6
化学製品	8.5	15.5	19.6	15.9	16.2	4.8	10.9	0.6
原料別製品	24.3	35.0	31.0	16.3	12.4	10.0	11.0	1.3
鉄鋼	37.1	60.2	44.2	13.0	11.2	4.5	4.3	0.2
非鉄金属	26.5	30.4	30.7	23.3	12.5	12.1	2.4	0.3
金属製品	7.9	4.4	5.0	4.6	4.3	10.1	1.3	0.2
一般機械	6.6	13.3	14.3	17.3	17.0	23.8	18.9	4.7
電気機器	8.7	11.1	17.1	13.8	13.0	19.5	18.3	3.9
半導体等電子部品	9.6	21.1	29.6	20.8	8.9	20.5	6.2	1.4
I C	8.7	25.8	41.2	24.8	8.9	27.8	4.6	1.3
映像機器	69.0	58.8	132.4	134.5	122.5			
映像記録・再生機器	▲3.7	▲0.5	63.1	58.3	39.2	40.8	0.4	0.2
音響・映像機器の部分品	▲21.6	7.7	▲16.9	▲35.4	▲8.3	7.9	0.2	0.0
電気回路等の機器	7.9	4.3	10.2	14.2	13.2	15.6	2.4	0.4
輸送用機器	4.9	▲5.3	3.4	14.6	30.8	74.9	20.8	11.5
自動車	4.8	▲7.9	0.4	13.7	39.3	122.2	14.8	10.5
自動車の部分品	2.9	0.5	1.8	0.8	13.4	12.4	3.9	0.5
その他	25.7	19.5	27.6	30.8	31.5	34.8	14.8	4.9
科学光学機器	5.7	▲2.4	12.2	22.0	15.0	12.1	2.5	0.3

米国向け輸出金額 内訳								
	2022/04	2022/05	2022/06	2022/07	2022/08	2022/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	17.5	13.6	15.7	14.1	33.8	45.2	100.0	45.2
食料品	39.1	31.6	34.9	15.5	1.6	▲1.3	0.7	▲0.0
原料品	18.3	77.3	26.8	0.4	17.5	15.6	0.6	0.1
鉱物性燃料	228.7	1455.2	659.8	104.9	115.1	37.2	1.4	0.6
化学製品	20.5	49.4	58.0	18.5	61.0	30.1	7.6	2.6
原料別製品	43.3	37.5	45.4	21.5	40.0	37.6	6.4	2.5
鉄鋼	87.0	24.4	128.1	19.3	118.8	62.6	1.6	0.9
非鉄金属	57.3	78.3	61.5	53.0	85.6	50.2	0.8	0.4
金属製品	12.4	6.7	1.0	4.2	7.9	14.4	1.3	0.2
一般機械	23.3	26.1	19.6	23.9	28.2	30.6	24.5	8.3
電気機器	8.7	1.2	8.6	▲0.3	18.2	27.6	13.7	4.3
半導体等電子部品	19.0	12.5	2.9	8.2	9.6	31.0	1.6	0.6
I C	10.9	25.8	20.2	17.1	14.7	68.4	0.9	0.5
映像機器	▲11.3	▲23.3	29.9	36.3	28.8			
映像記録・再生機器	▲14.0	▲19.0	39.3	33.8	14.2	58.5	0.8	0.4
音響・映像機器の部分品	▲62.2	▲1.6	5.1	▲84.7	▲60.5	▲30.0	0.1	▲0.1
電気回路等の機器	4.0	▲3.1	11.9	9.5	19.0	23.3	1.3	0.4
輸送用機器	9.3	▲13.8	0.3	6.8	38.5	92.0	33.7	23.4
自動車	10.9	▲15.6	▲0.7	8.4	34.6	118.8	26.2	20.7
自動車の部分品	5.7	1.0	8.4	▲2.7	44.5	27.2	5.7	1.8
その他	17.6	5.4	2.1	24.1	29.6	25.7	11.4	3.4
科学光学機器	31.6	17.0	16.5	32.3	32.2	27.1	2.4	0.7

EU向け輸出金額 内訳								
	2022/04	2022/05	2022/06	2022/07	2022/08	2022/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	19.2	10.5	22.2	31.7	16.7	33.2	100.0	33.2
食料品	32.0	18.2	27.9	1.7	▲19.1	18.7	0.6	0.1
原料品	24.4	5.0	27.3	50.7	27.9	7.5	1.0	0.1
鉱物性燃料	344.9	229.3	65.3	192.8	▲61.9	248.5	0.3	0.3
化学製品	15.1	7.2	18.3	32.5	32.5	11.5	12.2	1.7
原料別製品	44.6	61.5	44.4	25.0	▲15.4	36.7	7.9	2.8
鉄鋼	188.9	196.3	116.0	2.9	▲61.3	172.5	2.6	2.2
非鉄金属	23.4	37.2	30.3	67.3	31.4	▲5.7	1.0	▲0.1
金属製品	10.4	2.6	▲0.8	12.5	1.3	15.2	1.4	0.2
一般機械	33.8	18.4	11.4	27.2	14.0	23.6	22.1	5.6
電気機器	7.5	4.8	15.3	20.4	5.7	13.9	16.8	2.7
半導体等電子部品	15.2	20.3	22.7	18.7	11.7	12.0	2.3	0.3
I C	12.8	33.2	34.4	30.4	10.4	11.9	0.9	0.1
映像機器	11.1	32.6	132.0	143.0	101.4			
映像記録・再生機器	▲12.1	40.5	122.9	114.1	102.6	43.9	0.9	0.4
音響・映像機器の部分品	▲21.8	▲6.6	▲23.0	12.9	▲4.5	▲23.3	0.1	▲0.0
電気回路等の機器	11.2	8.9	7.8	22.6	11.5	18.1	1.7	0.3
輸送用機器	▲1.2	▲10.3	21.1	44.4	37.8	97.8	24.0	15.8
自動車	▲0.9	▲7.0	34.0	77.0	76.2	194.0	15.7	13.8
自動車の部分品	▲4.5	1.9	▲7.9	▲2.8	▲9.4	▲6.6	4.2	▲0.4
その他	31.0	9.5	41.5	36.5	18.7	25.0	15.0	4.0
科学光学機器	43.5	21.3	46.0	54.3	20.2	25.2	4.0	1.1

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2022/04	2022/05	2022/06	2022/07	2022/08	2022/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	10.3	17.5	18.8	21.1	18.1	20.6	100.0	20.6
食料品	10.1	17.7	24.1	23.9	19.6	17.4	1.5	0.3
原料品	1.7	16.7	7.3	15.0	8.2	14.8	2.2	0.3
鉱物性燃料	86.3	224.0	158.5	191.2	296.2	98.5	2.5	1.5
化学製品	4.4	11.8	13.0	13.5	6.8	1.6	13.6	0.3
原料別製品	21.5	34.9	28.4	14.9	10.0	5.7	13.5	0.9
鉄鋼	28.2	59.6	35.9	13.4	10.5	▲2.9	5.3	▲0.2
非鉄金属	28.3	30.9	33.8	19.7	8.0	11.5	3.7	0.5
金属製品	6.2	3.4	8.2	6.3	4.8	8.0	1.4	0.1
一般機械	▲4.8	5.1	11.4	14.7	12.4	19.6	17.9	3.5
電気機器	9.9	14.3	19.4	16.6	12.9	19.1	23.3	4.5
半導体等電子部品	8.5	21.4	31.0	21.1	8.3	20.4	10.0	2.0
I C	8.1	25.7	41.8	24.7	8.4	26.9	7.6	1.9
映像機器	235.8	171.6	295.6	302.0	285.6			
映像記録・再生機器	10.8	▲1.4	60.0	60.5	47.6	24.7	0.3	0.1
音響・映像機器の部分品	▲16.7	▲1.4	▲20.7	▲11.1	2.5	14.1	0.3	0.0
電気回路等の機器	9.8	4.9	10.0	13.8	12.4	15.7	3.4	0.6
輸送用機器	7.5	▲6.7	▲5.0	30.3	27.4	72.0	8.1	4.1
自動車	▲5.2	▲14.2	▲17.8	21.0	43.7	164.0	4.6	3.5
自動車の部分品	14.3	3.4	6.0	10.3	9.9	13.1	2.8	0.4
その他	25.3	27.7	31.3	32.1	33.0	33.5	17.3	5.2
科学光学機器	▲8.4	▲12.9	3.8	12.1	7.5	4.0	2.7	0.1

中国向け輸出金額 内訳								
	2022/04	2022/05	2022/06	2022/07	2022/08	2022/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲5.9	▲0.2	7.4	12.8	13.4	17.1	100.0	17.1
食料品	24.1	28.7	23.2	41.8	38.9	35.4	1.4	0.4
原料品	▲4.2	16.5	17.7	45.7	35.0	15.5	2.1	0.3
鉱物性燃料	100.2	23.8	180.4	294.0	250.6	65.8	0.8	0.4
化学製品	▲1.1	10.1	10.4	11.0	4.7	0.0	15.1	0.0
原料別製品	4.7	19.0	11.7	8.0	8.2	3.1	11.2	0.4
鉄鋼	▲0.3	21.0	4.2	▲0.1	8.3	▲7.9	3.0	▲0.3
非鉄金属	12.3	24.1	23.2	14.7	13.1	8.1	3.9	0.3
金属製品	▲1.7	5.7	0.7	▲1.6	▲3.4	▲0.2	1.5	▲0.0
一般機械	▲25.7	▲10.4	1.1	8.7	8.7	14.8	21.4	3.2
電気機器	7.9	3.6	15.2	15.6	7.9	16.5	23.4	3.9
半導体等電子部品	▲1.0	4.1	37.8	21.2	▲13.8	20.1	7.9	1.6
I C	▲4.6	2.4	51.2	28.6	▲20.6	26.8	6.0	1.5
映像機器	301.9	223.7	406.2	418.0	353.1			
映像記録・再生機器	▲14.4	▲11.9	51.1	48.8	36.6	▲1.7	0.4	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲28.7	▲37.1	▲49.3	▲31.8	▲33.7	▲16.2	0.3	▲0.1
電気回路等の機器	11.0	▲4.4	6.9	14.5	13.5	21.1	3.9	0.8
輸送用機器	▲10.0	▲26.3	▲22.8	5.5	19.6	92.3	9.6	5.4
自動車	▲12.2	▲36.3	▲23.2	18.2	55.2	336.8	6.5	5.9
自動車の部分品	▲4.4	▲12.4	▲21.1	▲13.0	▲18.8	▲9.7	3.0	▲0.4
その他	▲8.4	▲7.2	12.4	10.6	29.5	20.9	15.0	3.0
科学光学機器	▲22.3	▲22.9	▲12.5	▲16.5	▲4.7	▲7.8	3.2	▲0.3

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成